

【 企 業 動 向 調 査 （ 製 造 業 ） 概 況 】

2025 年 4 月～6 月期の企業動向調査（市内製造業 96 社）を行った結果、業況判断指数D I は 1.7 ポイントとなりました。

前期調査結果（2025 年 1 月～3 月期：▲ 9.5 ポイント）と比較して 11.2 ポイント好転しました。

その他経営上の問題については、「人材不足」、「原材料や部材の高騰」「業績が上向かず従業員の待遇改善が遅れている」などの意見がありました。

1. 今期調査結果は、「食品」、「一般機械」、「電気機械」、「その他業種」はプラスポイント、「木材家具」、「金属」はマイナスポイントとなりました。

業種別の業況判断前期比D I

食品	20.0	（前期比：プラス	53.3）
金属	▲7.2	（前期比：マイナス	13.9）
一般機械	7.1	（前期比：プラス	0.5）
電気機械	16.7	（前期比：プラス	50.1）
木材家具	▲20.0	（前期比：マイナス	20.0）
その他業種	▲11.1	（前期比：プラス	8.9）

2. 次期予想D I （2025 年 7 月～9 月）

次期予想は▲ 15.5 ポイントで、今期調査結果(1.7)より、17.2 ポイント下回る予想となりました。

業種別の次期予想D I

食品	0.0	（今期比：プラス	3.3）
金属	▲21.4	（今期比：マイナス	18.6）
一般機械	▲21.5	（今期比：マイナス	11.8）
電気機械	▲9.1	（今期比：マイナス	7.6）
木材家具	▲20.0	（今期比：プラス	20.0）
その他業種	▲11.1	（今期比：マイナス	11.1）

3. 経営上の主な問題点

「人材不足（技術者等質的なもの）」が 52.5%、「原材料・仕入品単価の上昇」が 35.6%、「受注の減少」が32.2%、「労働力不足（量的なもの）」が30.5%、「技術力の不足」が22.0%、「同業他社との競争激化」が 20.3%「納期の短縮」が 16.9%、「製品販売価格の低下」が 5.1%、「金融難」が 3.4%、「為替相場の変動」が 3.4%、「人員過剰」が 1.7%、「取引先の海外シフト化」が0.0%となっております。

企 業 動 向 調 査

【 2025 年 4 月～ 6 月期 <2 期> 】

【調 査 概 要】

須坂市産業振興部産業連携開発課では、市内製造業の景気動向を探る手段として、年 4 回市内企業を対象にアンケート調査を実施しており、今回は 2025 年 4 月～ 6 月期<2 期>の業況について調査した。

【調査実施要領】

実 施 時 期 2025 年 7 月

対 象 企 業 須坂市内または事業所を有する製造業企業 96 社（前回+2 社）

回答企業数 59 社（回答率 61.5%）

【調 査 結 果】

自社業況判断 （D I = 好転－悪化）

前 期 比：「**好転**」23.7%（前回 15.9%）、「**悪化**」22.0%（前回 25.4%）という割合で D I は 1.7 となり、11.2 ポイント好転した。

前年同期比：「**好転**」27.6%（前回 27.0%）、「**悪化**」24.1%（前回 31.7%）という割合で D I は 3.5 となり、8.2 ポイント好転した。

次 期 予 想：「**好転**」8.6%、「**悪化**」24.1%という割合で D I は▲ 15.5（前回▲ 23.9）となり、前期より好転を予想している。

受 注 引 合 （D I = 増加－減少）

前 期 比：「**増加**」24.1%（前回 20.6%）、「**減少**」19.0%（前回 27.0%）という割合で D I は 5.1 となり、11.5 ポイント増加した。

前年同期比：「**増加**」31.0%（前回 28.6%）、「**減少**」24.1%（前回 30.2%）という割合で D I は 6.9 となり、8.5 ポイント増加した。

次 期 予 想：「**増加**」8.6%、「**減少**」22.4%という割合で D I は▲ 13.8（前回▲ 20.6）となり前期より増加を予想している。

生 産 量 （D I = 増加－減少）

前 期 比：「**増加**」30.5%（前回 17.5%）、「**減少**」20.3%（前回 20.6%）という割合で D I は 10.2 となり、13.3 ポイント増加した。

前年同期比：「**増加**」32.8%（前回 25.4%）、「**減少**」24.1%（前回 25.4%）という割合で D I は 8.7 となり、8.7 ポイント減少した。

次 期 予 想：「**増加**」8.6%、「**減少**」22.4%という割合で D I は▲ 13.8（前回▲ 22.6）となり、前期より増加を予想している。

原材料・仕入品単価 (D I = 低下－上昇)

前 期 比：「低下」1.8%（前回 3.3%）、「上昇」30.4%（前回 38.3%）という割合で D I は▲ 28.6 となり、6.4 ポイント低下した。

前年同期比：「低下」3.6%（前回 3.3%）、「上昇」49.1%（前回 58.3%）という割合で D I は▲ 45.5 となり、9.5 ポイント低下した。

次 期 予 想：「低下」0.0%、「上昇」32.7%という割合で D I は▲ 32.7（前回▲ 44.1）となり、前期より原材料・仕入単価の低下を予想している。

製品販売価格 (D I = 上昇－低下)

前 期 比：「上昇」6.9%（前回 16.1%）、「低下」1.7%（前回 1.6%）という割合で D I は5.2 となり、9.3 ポイント低下した。

前年同期比：「上昇」28.1%（前回 32.3%）、「低下」3.5%（前回 4.8%）という割合で D I は24.6 となり、2.9 ポイント低下した。

次 期 予 想：「上昇」15.8%、「低下」3.5%という割合で D I は12.3（前回 17.8）となり、前期より製品販売価格の低下を予想している。

資 金 繰 り (D I = 好転－悪化)

前 期 比：「好転」6.8%（前回 12.7%）、「悪化」15.3%（前回 15.9%）という割合で D I は▲ 8.5 となり、5.3 ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」12.1%（前回 14.3%）、「悪化」17.2%（前回 19.0%）という割合で D I は▲ 5.1 となり、0.4 ポイント悪化した。

次 期 予 想：「好転」3.5%、「悪化」12.3%という割合で D I は▲ 8.8（前回▲ 19.0）となり、前期より資金繰りの好転を予想している。

所定外労働時間 (D I = 増加－減少)

前 期 比：「増加」18.6%（前回 15.9%）、「減少」15.3%（前回 11.1%）という割合で D I は3.3 となり、1.5 ポイント減少した。

前年同期比：「増加」17.2%（前回 17.5%）、「減少」17.2%（前回 15.9%）という割合で D I は0.0 となり 1.6 ポイント減少した。

次 期 予 想：「増加」12.1%、「減少」20.7%という割合で D I は▲ 8.6（前回▲ 12.7）となり 前期より労働時間の増加を予想している。

収 益 率 (D I = 上昇－低下)

前 期 比：「上昇」13.8%（前回 13.1%）、「低下」20.7%（前回 23.0%）という割合で D I は▲ 6.9 となり、3 ポイント上昇した。

前年同期比：「上昇」28.1%（前回 19.4%）、「低下」22.8%（前回 30.6%）という割合で D I は5.3 となり、16.5 ポイント上昇した。

次 期 予 想：「上昇」12.5%、「低下」25.0%という割合で D I は▲ 12.5（前回▲ 35.5）となり、前期より収益率の増加を予想している。

経営上の問題点（複数回答）

1位	人材不足（技術者等質的なもの）	（↑ 52.5%）
2位	原材料・仕入品単価の上	（→ 35.6%）
3位	受注の減少	（↑ 32.2%）
4位	労働力不足（量的なもの）	（↓ 30.5%）
5位	技術力の不足	（→ 22.0%）
6位	同業他社との競争激化	（↑ 20.3%）
7位	納期の短縮	（↓ 16.9%）
8位	製品販売価格の低下	（→ 5.1%）
9位	金融難	（→ 3.4%）
10位	為替相場の変動	（→ 3.4%）
11位	人員過剰	（↑ 1.7%）
12位	取引先の海外シフト化	（→ 0.0%）

※ 「↑」 前回の順位から上昇 「→」 前回の順位から変動なし
「↓」 前回の順位から下降

業種別自社業況判断／食 品

前 期 比：「**好転**」20.0%（前回 0.0%）、「**悪化**」0.0%（前回 33.3%）という割合で
D Iは20.0となり、53.3ポイント好転した。

前年同期比：「**好転**」20.0%（前回 16.7%）、「**悪化**」20.0%（前回 33.3%）という割合で
D Iは0.0となり、16.6ポイント好転した。

次 期 予 想：「**好転**」20.0%、「**悪化**」20.0%という割合でD Iは0.0（前回 0.0）となり
前期より若干の好転を予想している。

業種別自社業況判断／金属機械

前 期 比：「**好転**」21.4%（前回 26.7%）、「**悪化**」28.6%（前回 20.0%）という割合で
D Iは▲ 7.2となり13.9ポイント悪化した。

前年同期比：「**好転**」28.6%（前回 46.7%）、「**悪化**」28.6%（前回 33.3%）という割合で
D Iは0.0となり、13.4ポイント悪化した。

次 期 予 想：「**好転**」0.0%、「**悪化**」21.4%という割合でD Iは▲ 21.4（前回▲ 40.0）となり、
前期より好転を予想している。

業種別自社業況判断／一般機械

前 期 比：「**好転**」21.4%（前回 13.3%）、「**悪化**」14.3%（前回 6.7%）という割合で
D Iは7.1となり、0.5ポイント好転した。

前年同期比：「**好転**」28.6%（前回 20.0%）、「**悪化**」14.3%（前回 20.0%）という割合で
D Iは14.3となり、14.3ポイント好転した。

次 期 予 想：「**好転**」21.4%、「**悪化**」42.9%という割合でD Iは▲ 21.5（前回▲ 33.3）となり、
前期より好転を予想している。

業種別自社業況判断／電気機械

前 期 比：「好転」33.3%（前回 8.3%）、「悪化」16.7%（前回 41.7%）という割合で D I は 16.7 となり、50.1 ポイント好転した。

前年同期比：「好転」36.4%（前回 16.7%）、「悪化」27.3%（前回 33.3%）という割合で D I は 9.1 となり、25.7 ポイント悪化した。

次 期 予 想：「好転」0.0%、「悪化」9.1%という割合で D I は▲ 9.1（前回▲ 16.7）となり、前期より好転と予想している。

業種別自社業況判断／木材家具

前 期 比：「好転」20.0%（前回 20.0%）、「悪化」40.0%（前回 20.0%）という割合で D I は▲ 20.0 となり、20.0 ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」20.0%（前回 40.0%）、「悪化」20.0%（前回 20.0%）という割合で D I は 0.0 となり、20.0 ポイント悪化した。

次 期 予 想：「好転」0.0%、「悪化」20.0%という割合で D I は▲ 20.0（前回▲ 40.0）となり、前期より好転を予想している。

Q10 日銀松本支店が7月1日に発表した、企業短期経済観測調査（短観）によると、全産業の業況判断指数は（DI）は、前回調査（4月）と比較して、2ポイントプラスとなりました。製造業は、マイナス9ポイントと横ばい、非製造業は、プラス15ポイントと1ポイント好転しました。自社の景況感をどのように感じておられますか。

A 「好転している」3.4%、「今はないが、今後好転が見込まれる」11.9%、「変わらない」49.2%、「今はないが、今後悪化が見込まれる」22.0%、「悪化している」13.6%。

Q11 採用活動や販売促進、情報収集を目的として、SNS や YouTube などのデジタルツールを活用されていますでしょうか。活用されている場合は、そのツールをお答えください。（複数回答可）

A 「Facebook（フェイスブック）」11.9%、「Instagram（インスタグラム）」10.2%、「X（エックス：旧ツイッター）」5.1%、「YouTube（ユーチューブ）」11.9%、「ホームページ」61.0%、「活用していない」25.4%、「その他」1.7%（内訳：リスティング広告、等）。

Q12 デジタルツールを活用されている場合、その目的をお答えください。（複数回答可）

A 「採用活動」35.6%、「認知拡大」47.5%、「販売促進（顧客獲得）」37.3%、「企業や製品のブランディング」18.6%、「顧客とのコミュニケーション」16.9%、「情報収集」8.5%

Q13 デジタルツールを活用されている場合、最も効果があると感じるツールをお答えください。(複数回答可)

A 「Facebook (フェイスブック)」0.0%、「Instagram (インスタグラム)」10.2%、「X (エックス:旧ツイッター)」1.7%、「YouTube (ユーチューブ)」11.9%、「ホームページ」30.5%、「あまり効果的だと思わない」10.2%、「分からない」18.6%

Q14 その他経営上の問題についてご記入ください。

A 「人件費の高騰で利益が減少している」

「業績が上向かず従業員の待遇改善がおくれている。待遇改善によるモチベーションアップによる業績改善か、業績改善してからの待遇改善か、悩ましい」

「業務を引き継ぎたいが、パワハラ的な指導の為 教えられる側が付いていけず挫折し、事業継承が滞っている」

「製造業に関して、原材料や部材の高騰にかなりの影響があります。お客様から値上がった分を直ぐに請求できず、数か月間の交渉を経て少しでも値上げてもらえればというのが現状、交渉中の数か月間は大赤字生産となってしまう。また、賃金アップや社会保険、厚生年金の加入など小企業には対応できない。」

「全く経済状況が読めない。与党大敗で経済停滞が長引かなければ良い」

「賃上げについて、大手との収益差を考えると同様の引き上げは難しく疲弊感漂う」

「とにかく異常気象で気温上昇が予想を上回り、対策が追い付かず、就労時間を短くしている。事業継続のために冷房設備構築の助成金など公的な支援が不可欠な状況下である。

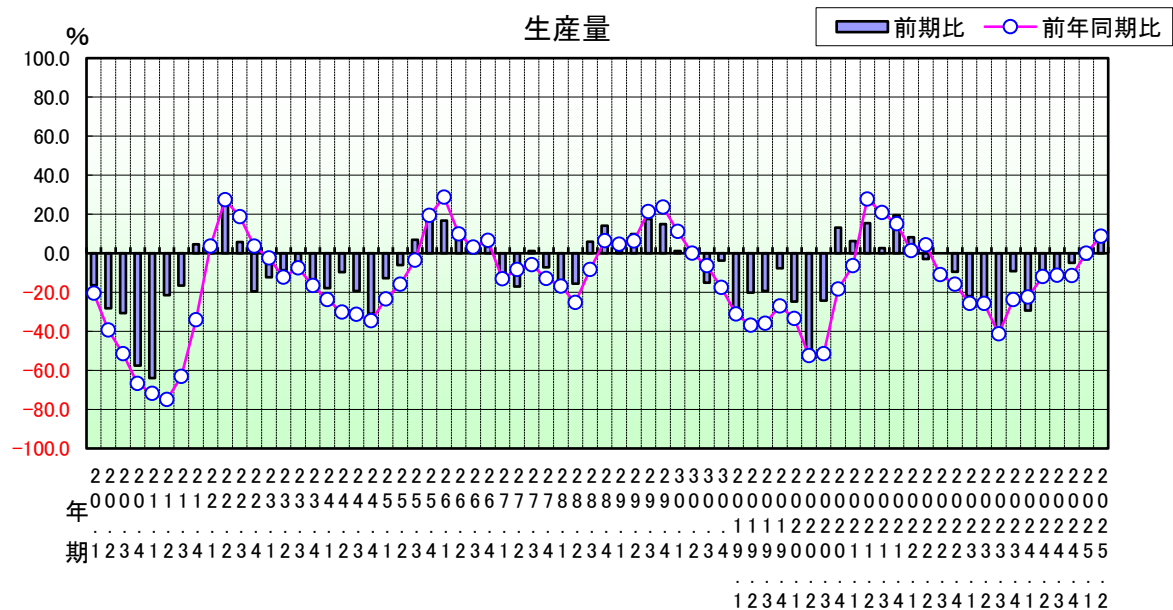
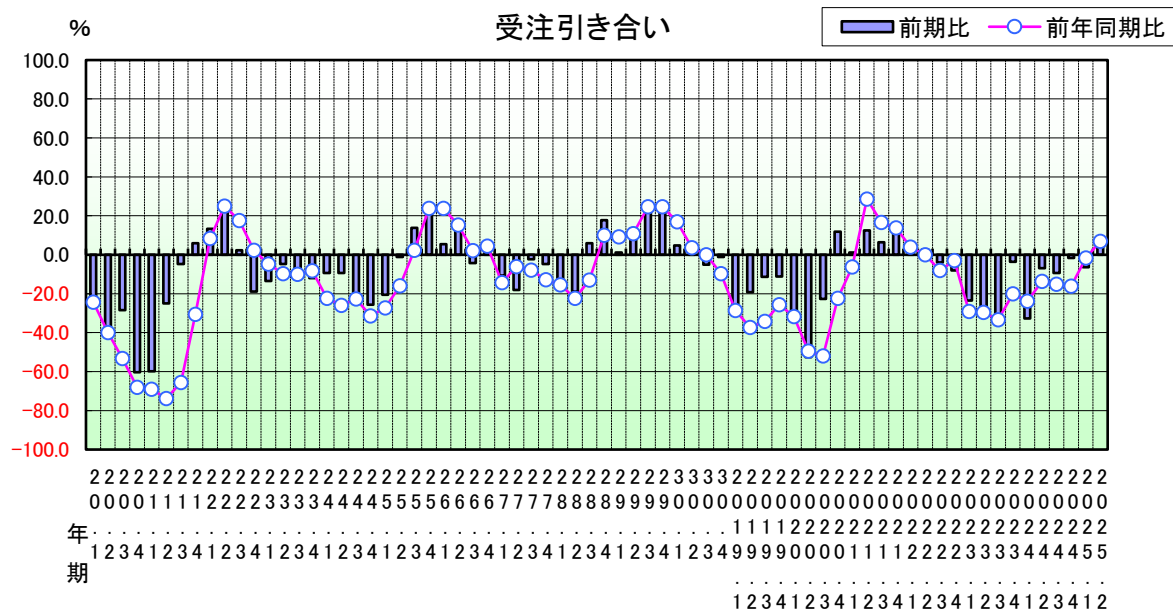
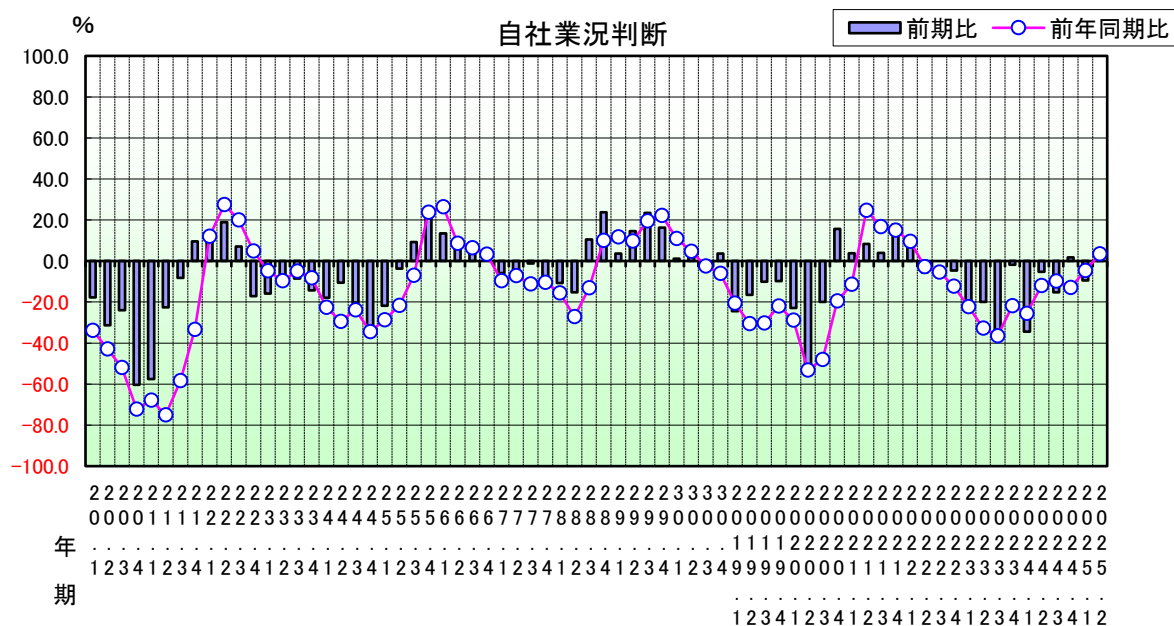
「原材料と仕入単価上昇分の取引先価格反映。設備の入れ替えなどがかさなり設備投資の増大」

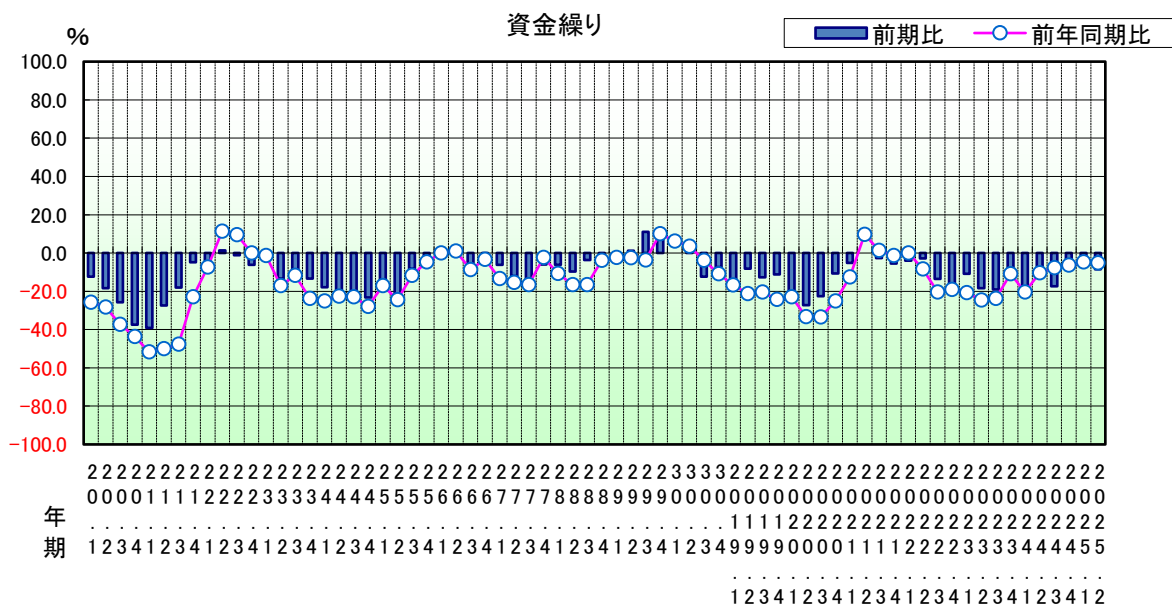
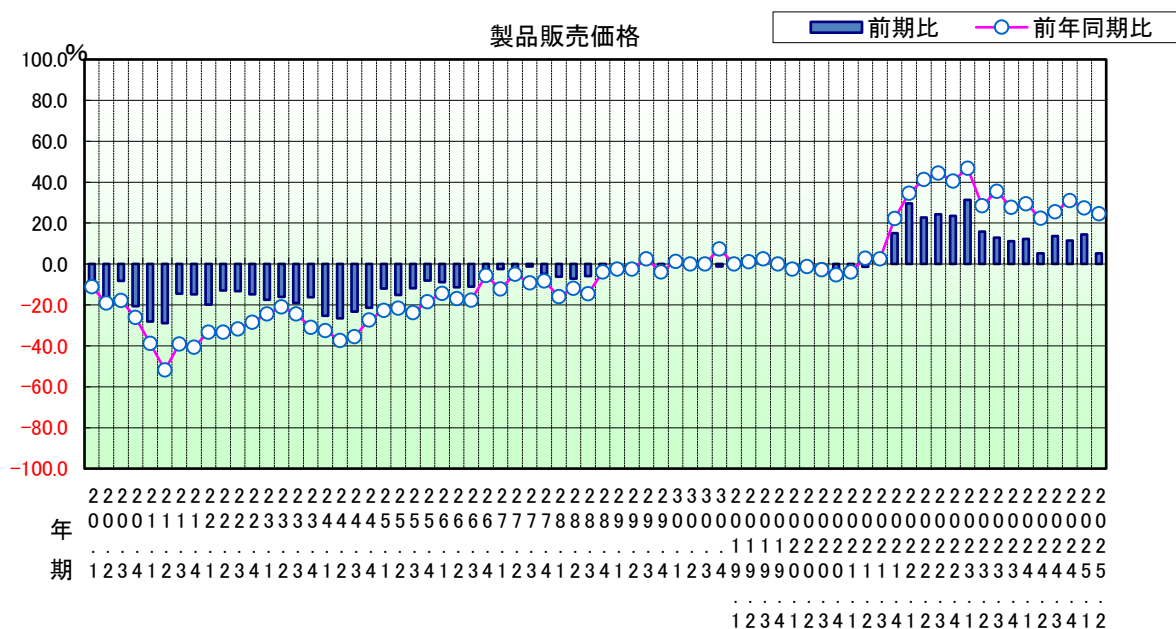
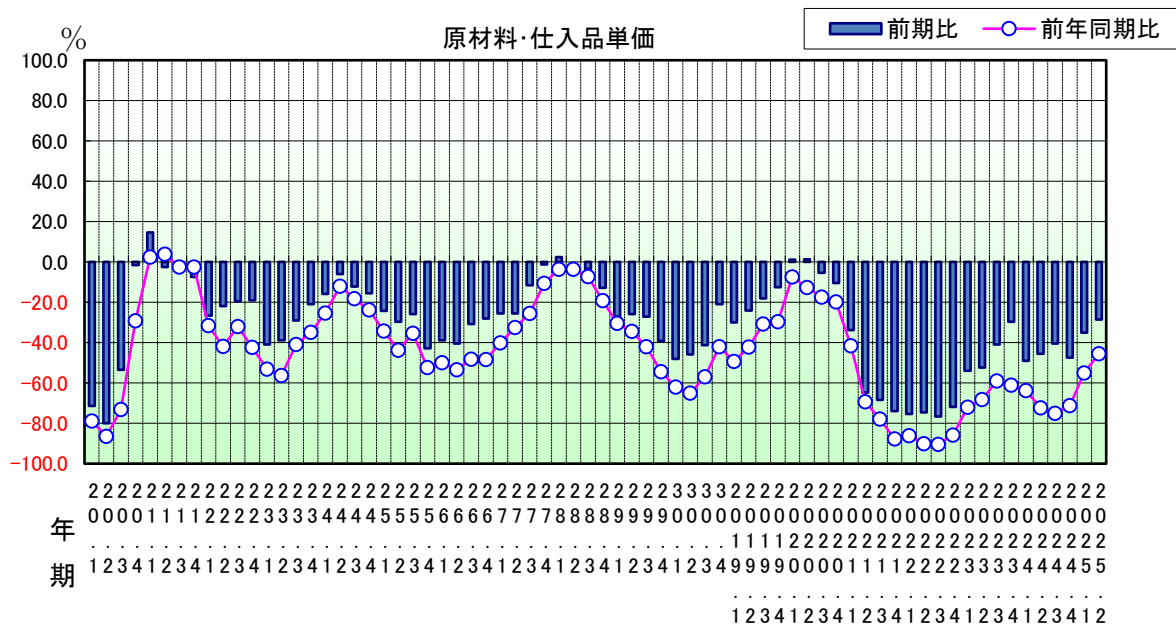
「トランプ関税の影響か、ここの所の受注減少は痛手。とりあえずの決着は見たが、予断を許さない状況は変わらない」

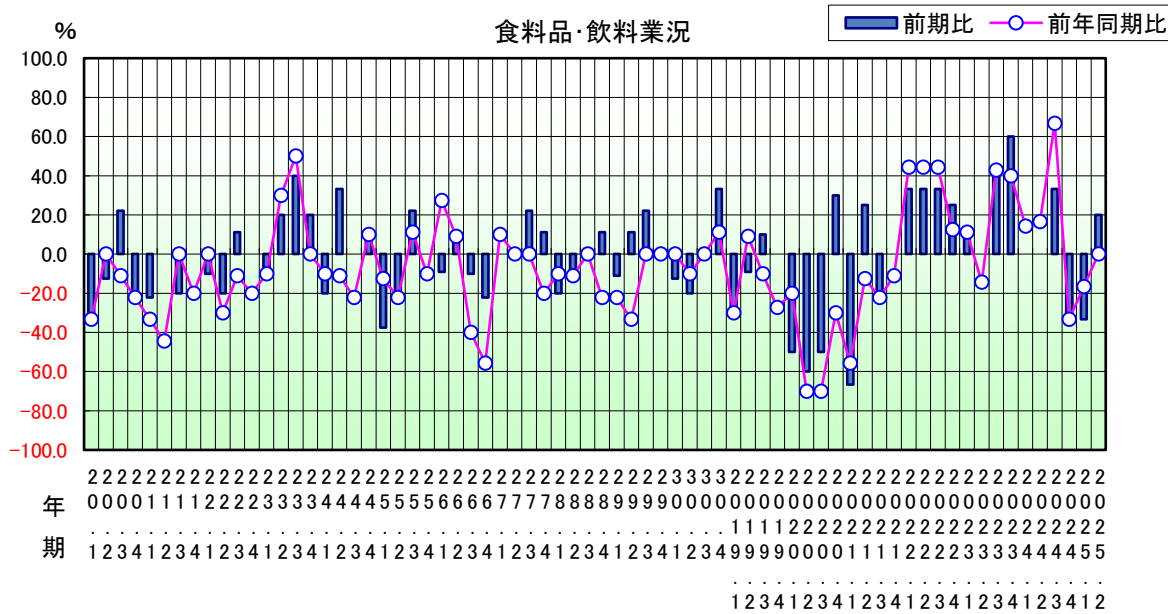
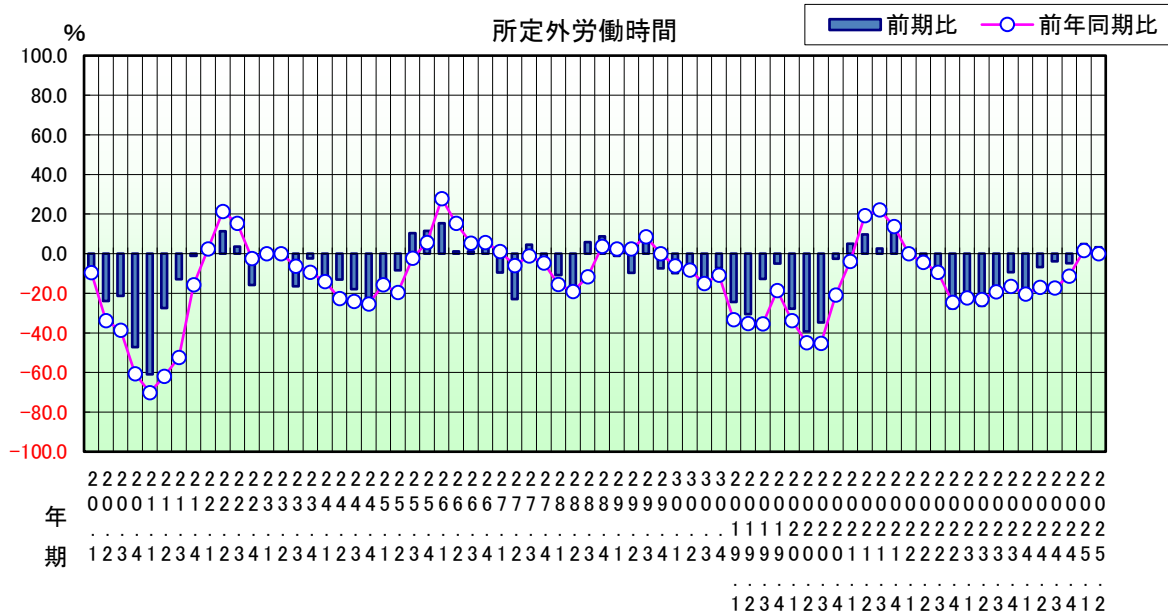
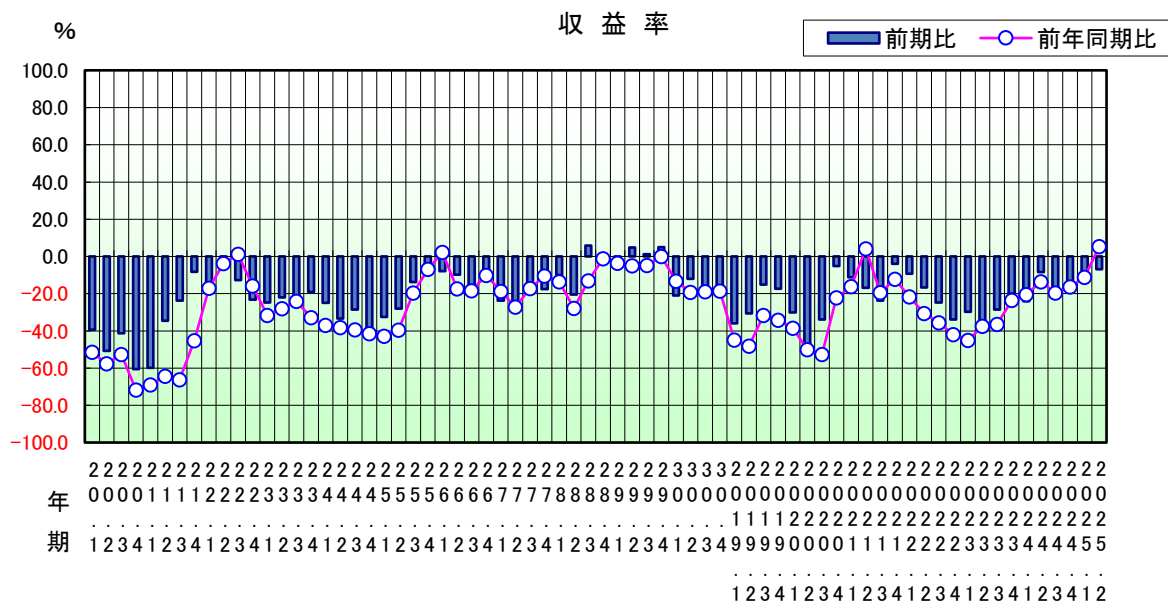
「人手不足」

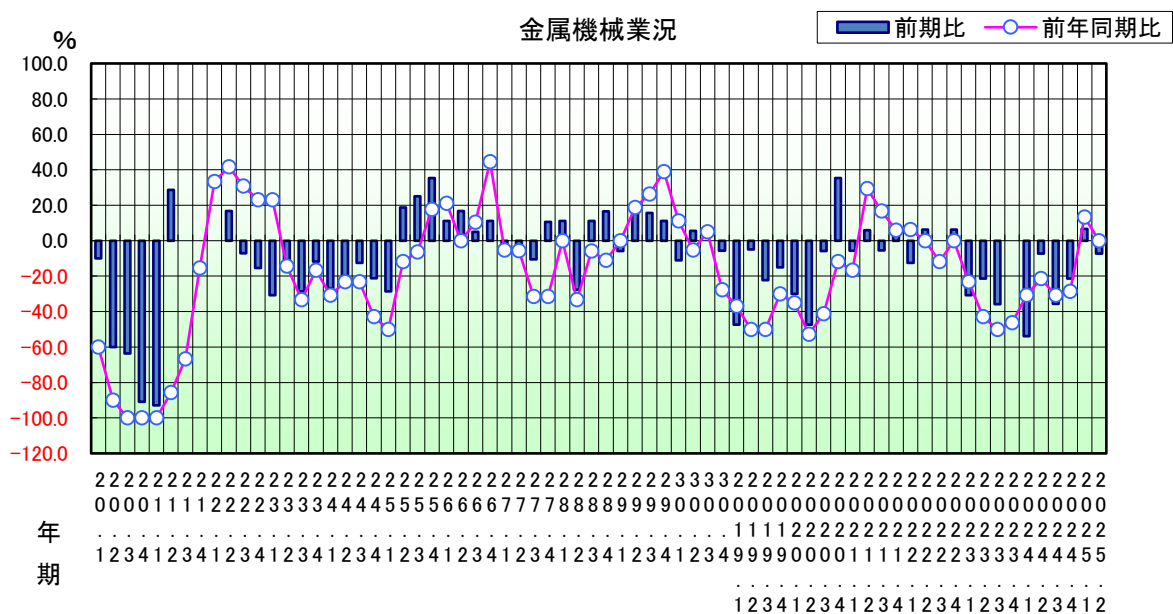
「コロナ融資の返済」

「納期の集中があって、生産が重なり、効率が悪くなる可能性がある」









電氣機械業況

